日日是Oracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2022年4月14日木曜日

Oracle APEXが使用するクッキーについて

Oracle APEXのリリース・ノートに、**プライバシーに関する告知(Privacy Notice)**について記載があります。

リリース・ノートの以下のセクションです。

11.1 Privacy Notice

Oracle APEX 21.2のリリース・ノートの日本語訳にて、該当する部分は以下になります。

11.1 プライバシに関する通知

その中に**Cookieおよび関連テクノロジ**のセクションがあり、**O**racle APEXが使用しているクッキーについて説明されています。

しかし、説明が短くて、いまひとつ分かりません。

少し、内容を確認してみました。

セッションCookie

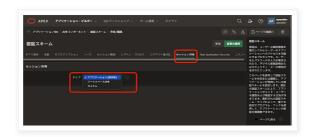
ORA_WWV_USER_instance_id

Oracle APEXが提供している**管理ツール**や**開発ツール**、例えば**アプリケーション・ビルダー**や**SQLワークショップ**なども**O**racle APEXのアプリケーションです。ユーザーが作成したAPEXアプリケーションと同様に、セッション管理にクッキーが使用されています。

このクッキーは、アプリケーションの**セキュリティ・クッキー**と同じ機能を持つものです。対象が開発ツールであり、管理者による変更はできません。Oracle APEXの管理者やアプリケーションの開発者として環境にアクセスしない限り、このクッキーがブラウザに送信されることはありません。

ORA_WWV_APP_application_id, ORA_WWV_APP_workspace_cookie_id, custom_name

これらのクッキーは、APEXアプリケーションの**認証スキーム**の**セッション共有**にて定義されています。



タイプによって、クッキーの名前が変わります。

- アプリケーション(非共有) ORA_WWV_APP_application_id
- ワークスペース共有 ORA_WWV_APP_workspace_cookie_id
- カスタム custom_name

カスタムを選択すると、**Cookie名、Cookieパス、Cookieドメイン、セキュア**を個別に設定することができます。



APEXアプリケーションのセッションの維持に使用されるクッキーであるため、このクッキーは必 **須クッキーになります**。

ORA_WWV_RAC_INSTANCE

APEXが動作しているデータベース・インスタンスがReal Application Clustersにて構成されている場合、リクエストが処理された**インスタンスID**が設定されます。

無くてもリクエストの処理はできるので、必須クッキーではありません。また、後続のリクエストが前回と同じインスタンスで実行されるかどうかは、中間層(ロード・バランサやORDS)の構成にも依存します。

永続Cookie

ORA_WWV_REMEMBER_LANG

APEXの管理サービスやワークスペースにサインインする際に、言語選択を行うことにより設定されるクッキーです。



このクッキーが設定されていると、APEXの管理サービスやワークスペースにサインインする際に、前回選択した言語でサインイン画面が開きます。

管理サービスや開発ツール以外では使用されていません。

ORA_WWV_REMEMBER_UN

開発者としてワークスペースにサインインする際に、**ワークスペースとユーザー名を記憶**にチェックを入れると生成されるクッキーです。



LOGIN_USERNAME_COOKIE

標準で生成されるAPEXアプリケーションのサインイン画面にて、**ユーザー名を記憶**にチェックを入れると生成されるクッキーです。



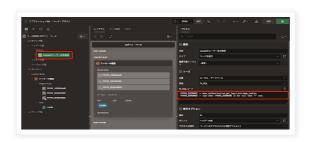
ただし、標準のサインイン画面は、開発者によってカスタマイズできます。

ページ・デザイナで開いて、サインインのページの実装を確認します。

レンダリング前にプロセスCookieのユーザー名を取得が実行され、クッキーからユーザー名を取り出し、ページ・アイテムに設定しています。

APEX_AUTHENTICATION.GET_LOGIN_USERNAME_COOKIEを呼び出しています。

:P9999_USERNAME := apex_authentication.get_login_username_cookie; :P9999_REMEMBER := case when :P9999_USERNAME is not null then 'Y' end;



サインインをクリックすると、プロセス**Cookieのユーザー名を設定**が実行され、クッキーにユーザー名を設定しています。APEX_AUTHENTICATION.SEND_LOGIN_USERNAME_COOKIEを呼び出しています。

apex_authentication.send_login_username_cookie (
p_username => lower(:P9999_USERNAME),
p_consent => :P9999_REMEMBER = 'Y');



チェックボックス**ユーザー名を記憶**は、APEX_AUTHENTICATIION.PERSISTENT_COOKIES_ENABLED がTRUEを返すときのみ表示されるよう、**サーバー側の条件**が設定されています。



APEX_AUTHENTICATION.GET_LOGIN_USERNAME_COOKIEおよびSEND_LOGIN_USERNAME_COOKIEともに、引数p_cookie_nameを指定せず、デフォルト値のC_DEFAULT_USERNAME_COOKIEを使っています。

この定数C_DEFAULT_USERNAME_COOKIEの値が、LOGIN_USERNAME_COOKIEになります。

アプリケーション開発者は、引数p_cookie_nameに独自にクッキー名を指定することで、LOGIN_USERNAME_COOKIEという名称を変更することができます。

永続Cookieは、**管理サービス**のインスタンスの設定によって、すべて無効にすることができます。

インスタンス管理のセキュリティのセクションに、ワークスペースCookieの設定という項目があります。これをいいえに変更します。



永続Cookieなので、この設定をいいえに変更しても、既にブラウザに記憶されているクッキーは残ります。そのため、これらのクッキーを手動でブラウザから削除する必要があります。

以上で、Oracle APEXが使用するクッキーについての補足説明は終了です。

完

Yuji N. 時刻: 16:24

共有

ホーム

ウェブ バージョンを表示

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。 こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

詳細プロフィールを表示

Powered by Blogger.